中央 IF ティーンズ

「THE FIRST PHRASE」展　ファースト・フレーズ、展示資料リスト

2022年2月1日～3月2日

種類	The First Phrase（ファースト・フレーズ。デビュー作の最初の一文）	デビュー作タイトル	発表・初版刊行年	書誌ID	展示資料タイトル	著者	出版者	分類
芥川賞作家	「スプリットタンって知ってる？」	『蛇にピアス』	2004年	0011234653	蛇にピアス(集英社文庫 か44-1)	金原 ひとみ/著	集英社	Fカネハ
	――あなたの歯が生まれつきとても健康であることはとてもよくわかりました。	『わたくし率イン 歯ー、または世界』	2007年	0012112929	わたくし率イン歯ー、または世界 (講談社文庫 か112-2)	川上 未映子/著	講談社	Fカワカ
	これより私は、或(あ)る個人的な回想を録(しる)そうと思っている。	『日蝕』	1998年	0010231592	日蝕(新潮文庫)	平野 啓一郎/著	新潮社	Fヒラノ
	大地を震わす和太鼓の律動に、甲高(かんだか)く鋭い笛の音が重なり響いていた。	『火花』	2015年	0014250186	火花(文春文庫 ま38-1)	又吉 直樹/著	文藝春秋	Fマタヨ
	自称変わり者の寝言	『インストール』	2001年	0011069341	インストール = Install(河出文庫)	綿矢 りさ/著	河出書房新社	Fワタヤ
	スコップと丸めたビニル袋を持って、あみ子は勝手口の戸を開けた。	『こちらあみ子』	2011年	0013004452	こちらあみ子(ちくま文庫 い83-1)	今村 夏子/著	筑摩書房	Fイマム
	そいはするんとうーちゃんの白いゆびのあいだを抜けてゆきました。	『かか』	2019年	0014773823	かか	宇佐見 りん/著	河出書房新社	Fウサミ
十代デビュー作家	「え、ガチで？」	『桐島、部活やめるってよ』	2010年	0012505544	桐島、部活やめるってよ (集英社文庫 あ69-1)	朝井 リョウ/著	集英社	Fアサイ
	「コヨーテって一体何？世界の隅まで冒険し隊、春の特別編！」	『星に帰れよ』	2020年	0014949155	星に帰れよ	新 胡桃/著	河出書房新社	Fアラタ
	九歳で、夏だった。	『夏と花火と私の死体』	1996年	0000804023	夏と花火と私の死体(集英社文庫)	乙一/著	集英社	Fオツイ
	「言ってなかったけどさ、あたし、大学行かないから」	『ジョナさん』	2005年	0012167151	ジョナさん(講談社文庫 か101-2)	片川 優子/著	講談社	Fカタカ
	お父さんがいなくて淋(さび)しいか、と聞かれることがある。	『さよなら、田中さん』	2017年	0014387590	さよなら、田中さん	鈴木 るりか/著	小学館	Fススキ
	なにが出るかな、なにが出るかな。	『黒冷水』	2003年	0011089863	黒冷水(河出文庫)	羽田 圭介/著	河出書房新社	Fハタ
	喧嘩(けんか)と仲直りの規則的な羅列(られつ)が句点も読点(とうてん)もなくノンストップでただつらつらと続いていくような、そういうお付き合いだった。	『 平成マシンガンズ』	2005年	0012818237	平成マシンガンズ(河出文庫 み22-1)	三並 夏/著	河出書房新社	Fミナミ
	一日二十四時間のうちの一時間。	『リアル鬼ごっこ』	2001年	0010734635	リアル鬼ごっこ(幻冬舎文庫)	山田 悠介/著	幻冬舎	Fヤマタ
	何ヶ月も何ヶ月も雨が降り続き、もしかしたらこのまま雨の中に閉じ込められるかもしれない。	『シルエット』	2001年	0010867983	シルエット(講談社文庫)	島本 理生/著	講談社	Fシマモ
日本の文豪	屈折率(くつせつりつ)　七つ森のこつちのひとつが 水の中より もつと明るく そしてたいへん巨(おほ)きいのに"	『春と修羅』（詩集）	1924年	0010568020	宮沢賢治詩集 (読んでおきたい日本の名作)	宮沢 賢治/著	教育出版	911.5
	トタンがセンベイ食べて 春の日の夕暮は穏かです	『山羊の歌』（詩集）	1934年	0000616733	山羊の歌 -中原中也詩集- (角川文庫クラシックス)	中原 中也/著	角川書店	911.5
	陸奥(みちのく)のまのゝかや原とほけどもおもかげにして見ゆとふものを　万葉集	『於母影』（訳詩集・新声社訳）	1889年	0000527104	森鷗外全集 12 於母影 冬の王(ちくま文庫)	森 鷗外/著	筑摩書房	918.6
	橋場(はしば)の玉川軒(ぎょくせんけん)と云(い)う茶式料理屋で、一中節(いっちゅうぶし)の順講があった。	『老年』	1914年	0014134287	羅生門・鼻・芋粥 :改版(角川文庫 あ2-6)	芥川 龍之介/著	KADOKAWA	Fアクタ
	騒音(そうおん)がすべて真直(まつす)ぐに立ちのぼって行くような秋日和(あきびより)である。	『招魂祭一景』	1921年	0010612473	伊豆の踊子・温泉宿 :改版 -他四篇-(岩波文庫)	川端 康成/作	岩波書店	Fカワハ
	一九二五年に梅鉢工場という所でこしらえられたC五一型のその機関車は、同じ工場で同じころ製作された三等客車三輛(りょう)と、食堂車、二等客車、二等寝台車、各々一輛ずつと、ほかに郵便やら荷物やらの貨車三輛と、都合九つの箱に、ざっと二百名からの旅客と十万を越える通信とそれにまつわる幾多の胸痛む物語とを載せ、雨の日も風の日も午後の二時半になれば、ピストンをはためかせて上野から青森へ向けて走った。	『列車』	1933年	0011867575	晩年 :改版(角川文庫 た1-1)	太宰 治/著	角川グループパブリッシング(発売)	Fタサイ
	其れはまだ人々が「愚(おろか)」と云う貴い徳を持って居て、世の中が今のように激しく軋(きし)み合わない時分であった。	『刺青』	1909年	0015047368	刺青(乙女の本棚)	谷崎 潤一郎/著	リットーミュージック(発売)	Fタニサ
	吾輩は猫である。	『吾輩は猫である』	1906年	0010563671	吾輩は猫である :改版(新潮文庫)	夏目 漱石/著	新潮社	Fナツメ

世界の文豪	ひと年(とせ)の前、伊太利亜の空気を呼吸(すう)た―― **ベッドフォード**　天は黒雲におおわれ、真昼は夜となるがいい！	『ラヴェンナ』（長詩） 『ヘンリー六世 第1部』（戯曲）	1878年 1588～1590頃	0000500260 0000156607	ワイルド全詩(講談社文芸文庫) シェイクスピア全集 [1] ヘンリー六世 第1部(白水Uブックス 1)	オスカー・ワイルド/著 日夏 耿之介/訳 ウィリアム・シェイクスピア/著 小田島 雄志/訳	講談社 白水社	931 932
	ジーファース　おい、ハンスのおやじ、もう一杯、ブランデーを	『鉄の手のゲッツ・フォン・ベルリヒンゲン』（戯曲）	1773年	0080153216	ドイツの文学 第1巻 ゲーテ	ゲーテ/著　井上 正蔵/訳	三修社	948
	おれが非情の大河をくだっていたとき、 おれを導く船(ふな)曳(ひ)きの綱の覚えはもうなかった、	『酔いどれ船』（韻文詩）	1871年	0000281675	地獄の季節 -ランボオ詩集-(集英社文庫)	ランボオ/著 粟津 則雄/訳	集英社	951
	水のように澄んだ空が星を漬(ひた)し、星を現像していた。	『南方郵便機』	1929年	0012649499	夜間飛行 :改版(新潮文庫 サ-1-1)	サン=テグジュペリ/著 堀口 大學/訳	新潮社	Nサンテ
	四月八日　わたしにとってかけがえのないワルワーラさん！ きのうわたしは幸福でした。	『貧しき人びと』	1846年	0012610964	貧しき人びと :改版(新潮文庫)	ドストエフスキー/著 木村 浩/訳	新潮社	Nトスト
	いつの世にも、恐怖と宿命は大手を振ってまかり通っていた。	『メッツェンガーシュタイン』	1832年	0011186219	黄金虫・アッシャー家の崩壊 -他九篇- (岩波文庫 32-306-3)	ポオ/作　八木 敏雄/訳	岩波書店	Nホ
	私(わたし)たち四人は、また水入らずで過ごしていた。	『堕ちる』	1893年	0015091080	道化者 -トーマス・マン ショートセレクション- (世界ショートセレクション 19)	トーマス・マン/作 木本 栄/訳	理論社	Nマン
その他の作家	生長　　三才 私に過去はなかった	『二十億光年の孤独』　(詩集)	1952年	0011591769	二十億光年の孤独(集英社文庫 た18-9)	谷川 俊太郎/著	集英社	911.5
	おれのPHSの裏側にはプリクラが一枚貼ってある。	『池袋ウエストゲートパーク』	1998年	0010108361	池袋ウエストゲートパーク(文春文庫)	石田 衣良/著	文芸春秋	Fイシタ
	こんなゲームを御存知であろうか。	『六番目の小夜子』	2001年	0000848383	六番目の小夜子(新潮文庫)	恩田 陸/著	新潮社	Fオンタ
	九月十日、火曜日の放課後。	『 放課後』	1985年	0000396580	放課後(講談社文庫)	東野 圭吾/著	講談社	Fヒカシ
	僕たちがとうとう自力救済に乗り出したのは六月半ばのことだった。	『我らが隣人の犯罪』	1990年	0000298075	我らが隣人の犯罪(文春文庫)	宮部 みゆき/著	文芸春秋	Fミヤヘ
	ふたつのわが家　　二年三組　藤井さゆき あたしには、わが家が、ふたつ、あります。	『リズム』	1991年	0011887262	リズム = Rhythm(角川文庫 も16-6)	森 絵都/著	角川書店	Fモリ
	私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思う。	『キッチン』	1988年	0010327572	キッチン(新潮文庫)	吉本 ばなな/著	新潮社	Fヨシモ
	「完璧な文章などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにね」	『風の歌を聴け』	1979年	0010828429	風の歌を聴け(講談社文庫)	村上 春樹/著	講談社	Fムラカ
	プリベット通り四番地の住人ダーズリー夫妻(ふさい)は、「おかげさまで、私どもはどこから見てもまともな人間です」というのが自慢(じまん)だった。	『ハリー・ポッターと賢者の石』	1997年	0010625629	ハリー・ポッターと賢者の石 ([「ハリー・ポッター」シリーズ] [1])	J.K.ローリング/作 松岡 佑子/訳	静山社	Nロリン
参考				0014993745	文豪誕生 -7人の文豪たちのデビュー作・出世作-	芥川 龍之介/ほか著	新紀元社	F
				0015124639	齋藤孝の冒頭文de文学案内 ：1分で蓄える知識&読みどころ	齋藤 孝/著	柏書房	019.1